

主要農作物等奨励品種特性表

令和6年度

目次

利用にあたって	1	ベニバナインゲン	10
水稻	2	(参考) 落花生	11
陸稻	4	(参考) 甘藷	12
麦類	5	種子生産計画	13
大豆	7	稲・麦・大豆の作付生産状況	14
そば	9	産地品種銘柄一覧	15

茨城県

利用にあたって

- 1 本県においては、普及すべき主要農作物等の優良な品種について、次の内容で奨励品種、準奨励品種、認定品種に区分しています。

奨励品種 本書では「奨」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、収量、病虫害抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種で県下全域を対象に普及奨励しようとするもの。

準奨励品種 本書では「準」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、収量、病虫害抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性又は生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種で、県が特定の地域に限って普及奨励しようとするもの。

認定品種 本書では「認」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、特定用途又は特定地域での栽培要件にあったもの。

- 2 数値については、茨城県農業総合センター農業研究所で実施している奨励品種決定調査の結果（5カ年の平均値）です。よって、栽培上の特性、収量等については、一般農家の平均値でないこと及び土壌条件、気象条件等による変動があること等について注意してください。
- 3 落花生及び甘藷は平成30年をもって奨励品種を指定する農作物から除外されましたが、引き続き、参考資料として本表に掲載しております。
- 4 品種特性を生かし、品質向上と安定生産を図るため、本書をご活用ください。

水稻奨励品種特性表

〈作物研究室（水戸市）〉

奨励 種別	区分	品 種 名	来歴または両親名	奨励品種 採用年度	早晚性	草 型	移植期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/㎡)	玄米千粒重 (g)	玄米重 (kg/10a)
粳	認	一 番 星	ふさおとめ×愛知101号	平 25	早生の早	偏穂数	5.07	7.19	8.23	76	19.4	400	23.9	541
粳	準	あきたこまち	コシヒカリ×奥羽292号	平 5	早生の早	偏穂数		7.19	8.24	80	18.6	381	22.5	547
粳	奨	ふくまるSL	ふくまる×一番星	令 2	早生の晩	中 間		7.21	8.24	75	19.2	391	25.6	610
粳	準	チヨニシキ	初星×トヨニシキ	昭 60	早生の晩	中 間		7.24	8.27	74	20.1	378	23.3	553
粳	認	ミルキークイーン	コシヒカリのMNU処理突然変異	平 12	中 生	中 間		7.29	9.06	92	20.8	388	21.4	634
粳	奨	コシヒカリ	農林22号×農林1号	昭 34	中 生	中 間		7.29	9.05	88	20.4	381	22.6	638
粳	奨	ゆめひたち	チヨニシキ×クヌヒカリ	平 9	中 生	中 間		7.30	9.06	77	20.0	360	22.3	582
粳	奨	にじのきらめき	なつほのか×北陸223号	令 3	中 生	中 間		7.29	9.10	67	20.9	371	24.7	636
粳	奨	ひたち錦	岐系89号×月の光	平 13	晩生の早	偏穂重		8.05	9.19	81	21.2	321	25.3	585
粳	認	あさひの夢	あいちのかおり×F ₁ (月の光×愛知65号)	令 元	晩 生	偏穂重		8.08	9.20	72	21.3	335	22.8	567
糯	奨	マンゲツモチ	F ₃ 249×農林糯45号	昭 38	中生の晩	穂 重		8.01	9.09	84	23.2	316	22.3	606

奨励 種別	区分	品 種 名	芒		成熟期の ふ先色	腹白の 多少	心白の 多少	玄米品質	食 味	耐倒伏性	耐冷性	耐 病 性				栽 培 適 地	特記事項
			多 少	長 短								葉いもち	穂いもち	紋枯病	縞葉枯病		
粳	認	一 番 星	稀	短	黄 白	無~微	微	上の中	良	強	強	中	中	中	強	県南・鹿行早場 米地域	大粒。高温耐性あり。早期収穫に適する。イネ縞葉枯病に 抵抗性を有する。
粳	準	あきたこまち	稀	短	黄 白	微	微	上の中	良	やや強	やや強	中	中	中	弱	県南早場米地域	早期収穫に適する。
粳	奨	ふくまるSL	稀	短	黄 白	微	微	上の中	良~極良	やや強	極強	中	中	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する「ふくまる」の同質遺伝子系 統。大粒。高温耐性あり。
粳	準	チヨニシキ	少	短	黄 白	微~少	微	上の中	やや良	強	やや強	強	強	中	弱	県内全域	強稈・多収であるが、心白、腹白粒がやややすい。
粳	認	ミルキークイーン	稀	短	黄 白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	低アミロースのため、炊飯米は粘りが強い。
粳	奨	コシヒカリ	稀	短	黄 白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	倒伏しやすい。いもち病に弱い。
粳	奨	ゆめひたち	稀	短	黄 白	微	微	上の中	極良	強	中	やや弱	中	中	弱	県内全域	強稈。いもち病にやや弱い。
粳	奨	にじのきらめき	稀	短	黄 白	微	微	上の中	極良	強	弱	中	やや強	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有し、大粒、高温耐性あり。障害型耐冷性 は弱い。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
粳	奨	ひたち錦	稀	短	黄 白	少	多	上の中	—	強	—	やや強	強	中	強	県内全域 (契約栽培)	酒造好適米。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
粳	認	あさひの夢	極少	短	黄 白	微	無~微	上の中	やや良~良	強	弱	中	強	中	強	県内全域	耐倒伏性に優れる。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。イネ白 葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
糯	奨	マンゲツモチ	少	短	黄 褐	—	—	上の中	良	やや強	—	やや強	強	中	弱	県内全域	やや分けづにくい。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次：令和元年~令和5年

(2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所（水戸市上国井町 表層腐植質多湿黒ボク土）

(3) 施肥量（10a当たり） 基肥：窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg 追肥：窒素3kg、カリ3kg

(4) 栽植密度：30cm×18cm（18.5株/㎡）

(5) 移植法：令和4年まで稚苗機械植え、令和5年から稚苗手植え

2 いずれの品種も脱粒性は難、玄米の形状は中

3 出穂期：全茎の40~50%が出穂した日、成熟期：穂首近くに緑色を残した粒の割合が穂全体の10%になった日

4 玄米千粒重：1.85mm篩上、水分含有率15%換算値

5 玄米重：1.85mm篩上、水分含有率15%換算値

水稲奨励品種特性表

〈水田利用研究室（龍ヶ崎市）〉

種別	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	早晩性	草型	移植期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	玄米千粒重(g)	玄米重(kg/10a)
種別	認	一番星	ふさおとめ×愛知101号	平25	早生の早	偏穂数	4.26	7.12	8.17	79	19.4	505	22.4	602
種別	準	あきたこまち	コシヒカリ×奥羽292号	平5	早生の早	偏穂数		7.12	8.19	83	17.8	492	20.6	611
種別	奨	ふくまるSL	ふくまる×一番星	令2	早生の晩	中間		7.16	8.23	81	18.4	463	23.6	636
種別	準	チヨニシキ	初星×トヨニシキ	昭60	早生の晩	中間		7.17	8.25	81	19.1	492	22.0	625
種別	奨	コシヒカリ	農林22号×農林1号	昭34	中生	中間		7.23	8.30	93	19.2	467	20.4	582
種別	奨	にじのきらめき	なつほのか×北陸223号	令3	中生	中間		7.23	9.4	70	20.0	448	22.8	649
種別	奨	ゆめひたち	チヨニシキ×キヌヒカリ	平9	中生	中間		7.26	9.3	78	19.2	442	20.8	607
種別	認	あさひの夢	あいちのかおり×F ₁ (月の光×愛知65号)	令元	晩生	偏穂重	8.2	9.17	75	20.6	399	22.1	577	
種別	奨	夢あおば	上321×ふくひびき	令2	早生	穂重型	5.22	8.3	9.22	91	21.2	346	24.7	760
種別	奨	月の光	黄金晴×(青い空×北陸103号)	令2	晩生	偏穂重型	5.23	8.16	10.2	87.33	21.5	388	22.4	661

種別	区分	品種名	芒		成熟期のふ先色	腹白の多少	心白の多少	玄米品質	食味	耐倒伏性	耐冷性	耐病性				栽培適地	特記事項
			多少	長短								葉いもち	穂いもち	紋枯病	縞葉枯病		
種別	認	一番星	稀	短	黄白	無~微	微	上の中	良	強	強	中	中	中	強	県南・鹿行早場米地域	大粒。高温耐性あり。早期収穫に適する。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
種別	準	あきたこまち	稀	短	黄白	微	微	上の中	良	やや強	やや強	中	中	中	弱	県南早場米地域	早期収穫に適する。
種別	奨	ふくまるSL	稀	短	黄白	微	微	上の中	良~極良	やや強	極強	中	中	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する「ふくまる」の同質遺伝子系統。大粒。高温耐性あり。
種別	準	チヨニシキ	少	短	黄白	微~少	微	上の中	やや良	強	やや強	強	強	中	弱	県内全域	強稈・多収であるが、心白、腹白粒がやややすい。
種別	奨	コシヒカリ	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	倒伏しやすい。いもち病に弱い。
種別	奨	にじのきらめき	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	弱	中	やや強	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する、大粒、高温耐性あり。障害型耐冷性は弱い。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
種別	奨	ゆめひたち	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	中	やや弱	中	中	-	県内全域	強稈。いもち病にやや弱い。
種別	認	あさひの夢	極少	短	黄白	微	無~微	上の中	やや良~良	強	弱	中	強	中	強	県内全域	耐倒伏性に優れる。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
種別	奨	夢あおば	少	短	黄白・黄	多	多	主食用米より悪く識別性有	-	極強	やや弱	不明	不明	不明	強	県内全域	飼料用。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。耐冷性がやや弱い。ため、極端な早植えは避ける。
種別	奨	月の光	稀	短	黄白・黄	少	少	主食用米と同程度	-	強	不明	強	強	不明	強	県内全域	飼料用。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次：令和元年~令和5年。「一番星」「あきたこまち」「チヨニシキ」は平成30年~令和5年(令和2年を除く)、「夢あおば」は平成27年~令和元年、「月の光」は平成28、29、令和元年
- (2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町 中粗粒灰色低地土)
- (3) 施肥量(10a当たり) 基肥：窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg 追肥：窒素3kg、カリ3kg
「夢あおば」及び「月の光」は、基肥：窒素9kg、リン酸9kg、カリ9kg 追肥：窒素5kg、カリ5kg
稲わらすき込み
- (4) 栽植密度：30cm×18cm(18.5株/m²)、「夢あおば」及び「月の光」は30cm×22cm(15.2株/m²)

- 2 いずれの品種も脱粒性は難、玄米の形状は中。ただし「夢あおば」の形状は大。
- 3 出穂期：全茎の40~50%が出穂した日成熟期：穂首近くに緑色を残した粒の割合が穂全体の10%になった日
- 4 玄米千粒重：1.85mm篩上、水分含有率15%換算値
- 5 玄米重：1.85mm篩上、水分含有率15%換算値

陸稲奨励品種特性表

稈 糯別	区 分	品 種 名	来歴または両親名	奨励品種 採用年度	早晚性	草型	播種期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 数 (本/m ²)	玄米千粒重 (g)	玄米重 (kg/10a)
糯	準	ひたちはたもち	関東糯166号×ゆめのはたもち	平 16	早 生	中 間	4.21	7.30	9.3	73	19.0	297	21.9	388

稈 糯別	区 分	品 種 名	芒		成熟期の ふ先色	籾のこぼ れ易さ	玄米品質	食 味	耐倒伏性	栽培適地	特記事項
			多 少	長 短							
糯	準	ひたちはたもち	少	短	褐	難	中の中	上の中	強	県内全域	早生のため秋野菜の前作にも適する。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次：平成16年～20年

(2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所（水戸市上国井町）畑（表層腐植質黒ボク土）

(3) 施肥量（10a当たり） 基肥量：窒素5kg、リン酸7.5kg、カリ6.7kg 追肥：窒素2kg

(4) 播種量（10a当たり）4kg、畦幅60cm

2 出穂期：全茎の40～50%が出穂した日

成熟期：穂首近くに緑色を残した粒の割合が10%になった日

麦類奨励品種特性表

〈作物研究室（水戸市）〉

種類	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	播種程度	播種期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/)	容積重(g/L)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)
	準	ゆめかおり	ニシノカオリ×KS831957	平 22	Ⅱ	4.16	6.6	100	7.6	621	840	45.7	494	
	認	きぬの波	関東107号×バンドウワセ	平 15	Ⅱ	4.15	6.6	79	9.0	544	839	39.5	627	
六条大麦	奨	カシマムギ	北関東皮3号×ムサシノムギ	昭 46	Ⅱ	4.7	5.25	87	4.3	649	709	31.0	611	
	奨	カシマゴール	さやかぜ×関東裸77号	平 22	Ⅰ	4.6	5.24	87	4.2	699	740	28.8	646	
大二条	奨	ミカモゴールデン	南系B4718×はるな二条	平 7	Ⅰ	4.5	5.24	96	5.5	927	719	38.2	513	
裸麦	認	キラリモチ	F ₁ (四国裸103号×とちのいぶき) ×四国裸97号	平 29	Ⅰ	4.8	5.28	84	6.9	1151	820	34.6	462	

種類	区分	品種名	外観品質	株の開閉	耐倒伏性	耐病性			栽培適地	特記事項
						さ	び	うどんこ		
小麦	奨	さとのそら	上の中	中	強	強	やや弱	強	県内全域の輪換畑	コムギ萎縮病に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。アミロース含量が通常タイプのため汎用性に優れる。
	準	ゆめかおり	中の上	やや閉	やや強	強	やや強	強	県内全域の窒素肥沃度の高い畑地	ムギ類萎縮病には罹病性、コムギ萎縮病に抵抗性を有する。製パン適性が優れる。
	認	きぬの波	上の中	やや閉	強	中	やや弱	強	県南・県西地域の輪換畑	ムギ類萎縮病には罹病性、コムギ萎縮病に抵抗性を有する。アミロース含量がやや低い。製麺適性が優れる。
六条大麦	奨	カシマムギ	上の中	中	中	強	強	弱	県内全域の普通畑	ムギ類萎縮病、オオムギ萎縮病に罹病性。成熟期の穂首折損に弱い。麦茶品質が優れる。
	奨	カシマゴール	上の中	中	やや強	-	強	強	県内全域の普通畑 オオムギ萎縮病発生地	オオムギ萎縮病（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ型）に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。麦茶品質が優れる。
大二条	奨	ミカモゴールデン	上の中	やや閉	中	中	弱	やや強	県内全域の普通畑、輪換畑	ムギ類萎縮病、オオムギ萎縮病のⅠ・Ⅱ型に抵抗性を有するが、Ⅲ型には罹病性。穂発芽性はやや易。
裸麦	認	キラリモチ	中の上	やや閉	強	-	極強	極強	県内全域の普通畑、輪換畑 (窒素肥沃度が高い場合は除く)	オオムギ萎縮病（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ型）に抵抗性を有する。穂発芽性は易。モチ性で食味に優れる。β-グルカン含量が高く、機能性に優れる。プロアントシアニンフリー遺伝子を持ち、炊飯麦の褐変がほとんどない。開花性。窒素肥沃度が高い場合や凍霜害の影響で遅れ穂が発生しやすい。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次：平成30年～令和4年（播種年）
- (2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所（水戸市上国井町）畑（表層腐植質黒ボク土）輪換畑（表層腐植質湿黒ボク土）
- (3) 施肥量（10a当たり） 基肥量：窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg
追肥量：茎立期に窒素4kg（カシマムギ、カシマゴールのみ）
- (4) 播種様式：条間30cm、ドリル栽培、播種量（10a当り）8kg、ただし二条大麦は10kg
- (5) 千粒重、子実重は水分換算値12.5%の値、容積重は風乾値

- 2 播種程度：ⅠⅡ春播型、ⅢⅣ中間型、Ⅴ～Ⅶ秋播型
- 3 出穂期：全茎の40～50%が出穂した日
成熟期：茎葉並びに穂首部分が黄化し、穂軸や粒は緑が抜け、粒にはツメ跡が僅かにつき、ほぼロウぐらの固さに達した粒を付ける穂が全穂数の80%以上に達した日

麦類奨励品種特性表

〈水田利用研究室（龍ヶ崎市）〉

種類	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	播性程度	播種期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/)	容積重(g/L)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)
小麦	奨	さとのそら	F ₁ (しゅんよう×きぬいろは)×ニシカゼコムギ	平 21	Ⅳ	11.10	4.9	5.29	84	8.7	669	808	36.8	590
	認	きぬの波	ニシノカオリ×KS831957	平 15	Ⅱ		4.9	5.31	83	9.0	547	818	36.7	665
	認	ゆめかおり	関東107号×バンドウワセ	平 22	Ⅱ		4.9	5.29	104	7.6	707	840	39.8	524
六条大麦	奨	カシマムギ	北関東皮3号×ムサシノムギ	昭 46	Ⅱ	11.11	4.2	5.16	90	4.2	557	696	29.8	660
	奨	カシマゴール	さやかぜ×関東裸77号	平 22	Ⅰ		3.31	5.16	91	4.0	681	690	28.5	714
大二条	奨	ミカモゴールド	南系B4718×はるな二条	平 7	Ⅰ	11.11	4.1	5.15	101	5.5	913	716	40.3	606
裸麦	認	キラリモチ	F ₁ (四国裸103号×とちのいぶき)×四国裸97号	平 29	Ⅰ	11.11	4.2	5.19	82	6.7	795	844	38.0	548

種類	区分	品種名	外観品質	株の開閉	耐倒伏性	耐病性			栽培適地	特記事項
						さ	び	うどんこ病萎縮		
小麦	奨	さとのそら	上・下	中	強	強	やや弱	強	県内全域の輪換畑	コムギ萎縮病に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。通常アミロース含量で汎用性に優れる。
	認	きぬの波	上・中	やや閉	強	中	やや弱	強	県南・県西地域の輪換畑	ムギ類萎縮病には罹病性、コムギ萎縮病に抵抗性を有する。アミロース含量がやや低く、製麺適性が優れる。
	認	ゆめかおり	中・上	やや閉	やや強	強	やや強	強	県内全域の窒素肥沃度の高い畑地	ムギ類萎縮病には罹病性、コムギ萎縮病に抵抗性を有する。製パン適性が優れる。
六条大麦	奨	カシマムギ	上・下	中	中	強	強	弱	県内全域の普通畑	ムギ類萎縮病、オオムギ萎縮病に罹病性。成熟期の穂首折損に弱い。麦茶品質が優れる。
	奨	カシマゴール	上・下	中	やや強	-	強	強	県内全域の普通畑 オオムギ萎縮病発生地	オオムギ萎縮病(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ型)に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。成熟期の穂首折損に強い。麦茶品質が優れる。
大二条	奨	ミカモゴールド	上・下	やや閉	中	中	弱	やや強	県内全域の普通畑、輪換畑	ムギ類萎縮病、オオムギ萎縮病のⅠ・Ⅱ型に抵抗性を有するが、Ⅲ型には罹病性。穂発芽性はやや易。
裸麦	認	キラリモチ	中・上	やや閉	強	-	極強	極強	県内全域の普通畑、輪換畑 (窒素肥沃度が高い場合は除く)	オオムギ萎縮病(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ型)に抵抗性を有する。穂発芽性は易。モチ性で食味に優れる。β-グルカン含量が高く、機能性に優れる。プロアントシアニンフリー遺伝子を持ち、炊飯麦の褐変がほとんどない。開花性。窒素肥沃度が高いほ場や凍霜害の影響で遅れ穂が発生しやすい。

(注) Ⅰ 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次：平成30年～令和4年(播種年)、「きぬの波」は令和4年を除く
- (2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町)輪換畑(中粗粒灰色低地土)
- (3) 施肥量(10a当たり) 基肥：窒素8kg、リン酸12kg、カリ11kg 追肥：茎立期に窒素4kg
- (4) 播種様式：条間30cm、ドリル栽培、播種量(10a当たり)8kg(六条大麦・小麦)、10kg(二条大麦)
- (5) 容積重、千粒重、子実重は水分換算値12.5%の値

2 播性程度：ⅠⅡ春播型、ⅢⅣ中間型、Ⅴ～Ⅶ秋播型

3 出穂期：全茎の40～50%が出穂した日

成熟期：莖葉並びに穂首部分が黄化し、穂軸や粒は緑が抜け、粒にはツメ跡が僅かにつき、ほぼロウぐらいの固さに達した粒を付ける穂が全穂数の80%以上に達した日

大豆奨励品種特性表

〈作物研究室（水戸市）〉

区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	生態型	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	主茎節数 (節)	結実莢数 (莢/m ²)	百粒重 (g)	子実重 (kg/10a)
奨	里のほほえみ	東北129号 ×刈交0264MYF6	平 27	IIc	6.19	8.1	10.26	55	5.1	13.6	564	40.8	320
奨	納豆小粒	純系淘汰	昭 51	IIIc		8.9	10.30	66	7.1	18.4	1,943	11.5	307

区分	品種名	花の色	莢の毛の有無	莢の毛の色	つるになり易さ	耐倒伏性	子実					栽培適地	特記事項
							色	へその色	形状	大小	品質		
奨	里のほほえみ	白	有	白～淡褐	難	強	黄白	黄	扁球	極大	中の中	県内全域の普通畑。転換畑	多収・良質、大粒で蛋白質含量が高い。青立ち・倒伏に強い。難裂莢性。ダイズモザイクウイルス抵抗性。
奨	納豆小粒	紫	有	白～淡褐	易	中	黄白	黄	球	極小	中の中	県北の普通畑、輪換畑	良質で極小粒率が高く、納豆加工適性に優れる。早播きでは蔓化し、倒伏しやすい。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次：令和元年～令和5年
- (2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所（水戸市上国井町）輪換畑（表層腐植質多湿黒ボク土）
- (3) 施肥量（10a当たり）窒素3kg、リン酸10kg、カリ10kg
- (4) 栽植密度：畦幅60cm×株間20cm（8.3本/m²）
- (5) 子実重は精子実重を示す
- (6) 全重は風乾重、百粒重及び子実重は水分15%換算値

- 2 生態型分類：開花までの日数 II短、III中
結実日数 b中、c長
- 3 開花期：全株数の40～50%が開花始めに達した日
成熟期：全株数の80～90%の莢の大部分が変色し、
粒の大部分が品種固有の色を表し、
振って音のする日

大豆奨励品種特性表

〈水田利用研究室（龍ヶ崎市）〉

区分	品 種 名	来歴または両親名	奨励品種 採用年度	生態型	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	主茎節数 (節)	結実莢数 (莢/㎡)	百粒重 (g)	子実重 (kg/10a)
奨	里のほほえみ	東北129号 ×刈交0264MYF6	平 27	IIc	6.19	7.31	10.24	55	4.5	14.5	591	36.4	320
奨	納豆小粒	純系淘汰	昭 51	IIIc	6.19	8.06	10.27	61	9.3	16.0	2,183	10.5	369

区分	品 種 名	花の色	莢の毛 の有無	莢の毛 の色	つるに なり易さ	耐倒伏性	子 実					栽 培 適 地	特記事項
							色	へその色	形状	大 小	品 質		
奨	里のほほえみ	白	有	白～ 淡褐	難	強	黄白	黄	扁球	極大	中の中	県内全域の普通畑。転換畑	多収・良質、大粒で蛋白質含量が高い。青立ち・倒伏に強い。難裂莢性。ダイズモザイクウイルス抵抗性。
奨	納豆小粒	紫	有	白～ 淡褐	易	中	黄白	黄	球	極小	中の中	県北の普通畑、輪換畑	良質で極小粒率が高く、納豆加工適性に優れる。早播きでは蔓化し、倒伏しやすい。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次：令和元年～令和5年

(2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町) 輪換畑(中粗粒灰色低地土)

(3) 施肥量(10a当たり) 窒素3kg、リン酸12kg、カリ12kg

(4) 栽植密度：畦幅60cm×株間15cm(11.1本/㎡)

(5) 子実重は精子実重を示す

2 生態型分類：開花までの日数 II短、III中

結実日数 b中、c長

3 開花期：全株数の40～50%が開花始めに達した日
成熟期：全株数の80～90%の莢の大部分が変色し、
粒の大部分が品種固有の色を表し、
振って音のする日

そば奨励品種特性表

区分	品 種 名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	生態系	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)
奨	常陸秋そば	在来種からの選抜	昭 60	中間～ 秋型	8.21	9.14	10.25	93	9.9

区分	品 種 名	分枝数 (本/株)	千粒重 (g)	子実重 (kg/10a)	子 実			食 味	栽 培 適 地	特記事項
					整否	粒色	品質			
奨	常陸秋そば	2.6	35.9	168	整	黒 褐	良	良	県内全域の普通畑 および輪換畑	他家受粉のため自家採種を 繰り返すと品質が低下す る。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次：昭和60年～平成元年 5ヶ年の平均値

(2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所（水戸市上国井町）畑（表層腐植質黒ボク土）

(3) 播種量（10a当り）5kg、畦幅60cm

(4) 施肥量（10a当り）窒素2kg、リン酸3kg、カリ4kg

2 開花期：全株数の約50%が開花始めに達した日

成熟期：子実の約80%が成熟に達した日

ベニバナインゲン奨励品種特性表

区分	品 種 名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	伸育性	胚軸の色	花色	早晩性	播種期(月日)	開花期(月日)	成熟期(月日)
認	常 陸 大 黒	花豆白在来×在来斑紋種の自然交配(推定)	令 2	無限 つる性	赤紫	赤	中	7.1	8.11	11.1

区分	品 種 名	莢数 (莢/株)	百粒重 (g)	子実重 (kg/a)	種 皮				栽 培 適 地	特記事項
					斑紋の 種類	地色	斑紋の色	環色		
認	常 陸 大 黒	53	189	36.5	無	黒	無	無	県北中山間地及びその周辺地域	高温下では生理的落花が多く、稔実も劣るため、平坦地での栽培は避ける。虫媒により容易に交雑するため、「常陸大黒」以外のベニバナインゲン品種が作付されている地域での栽培は避ける。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次：平成8年～平成10年 3ヶ年の平均値
 - (2) 試験圃場：茨城県農業総合センター生物工学研究所(水戸市上国井町)畑(表層腐植質黒ボク土)
 - (3) 栽植密度 (1a当り) 200株(畦幅1m×株間0.5m)
 - (4) 施肥量 (1a当り) 窒素1kg、リン酸4kg、カリ4kg
- 2 開花期：全個体の40～50%が開花始に達した日
成熟期：全個体の80～90%において莢の大部分が変色し、子実が品種固有の色を表す日
 - 3 百粒重及び子実重は水分15%換算値

(参考) 落花生品種特性表

品 種 名	来歴または両親名	草 型	播種期 (月日)	開花期 (月日)	収穫期 (月日)	最長分枝長 (cm)	分枝数 (本/株)	莢実数 (莢/株)	莢実重 (kg/10a)
千 葉 半 立	八街半立の純系淘汰	中間型	5.14	6.26	9.23	62.2	35.3	28.4	337
ナカテユタカ	関東8号×334A	立 性	5.14	6.24	9.12	52.1	31.7	35.6	449

品 種 名	むき実歩合 (%)	上実百粒重 (g)	子実重 (kg/10a)	子 実				病 害			栽培適地	特記事項
				整否	粒色	色沢	品 質	黒渋	褐斑	汚斑		
千 葉 半 立	66	88.9	221	整	淡橙褐	良	やや上	無～微	微～少	微	県内全域	収量がやや低い。収穫の目安は開花期後90日。
ナカテユタカ	71	97.2	319	整	淡橙褐	良	やや上 ～上	無～微	無～中	微	県内全域	収穫遅れにより、品質および食味が大きく低下する。収穫の目安は開花期後80日。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次：[千葉半立]平成28年～令和2年、[ナカテユタカ]平成元年～令和5年
 - (2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所（水戸市上国井町）畑（表層腐植質黒ボク土）
 - (3) 施肥量：（10a当たり）窒素3kg、リン酸12kg、カリ12kg、消石灰100kg、苦土重焼りん100kg
 - (4) 栽培型：マルチ栽培、栽植密度：平均畦幅60cm、株間24cm
- 2 開花期：全株数の40～50%が開花始めに達した日
 - 3 莢実重、上実百粒重、子実重は風乾重

(参考) 甘藷品種特性表

用途	品 種 名	来歴または両親名	萌 芽		頂葉の色	葉脈の色	葉 型	茎の色	つる重 (kg/10a)	上いも重 (kg/11a)	上いも 一個重 (g)	株当たり 上いも個数 (個)
			遅 速	多 少								
青 果 用	ベニアズマ	関東85号×コガネセンガン	速	多	淡緑	淡紫	心臓型	紫 褐	4,414	3,782	302	3.4
	べにまさり	九州104号×九系87010-21	速	多	淡緑	緑	心臓型	淡 緑	4,431	3,756	267	3.9
	ふくむらさき	九系255×パープルスイートロード	中	中	淡緑	緑	複欠刻 浅裂	紫 褐	5,268	2,171	148	4.0
	べにはるか	九州121号×春こがね	中	中	淡緑	緑	心臓型	淡 緑	5,719	3,108	213	4.0
蒸 切 干 し 用	タマユタカ	関東33号×関東19号	中	中	淡緑	緑	単欠刻	淡 緑	4,646	3,485	260	3.7
	ヒタチレッド	キャロメックスを母本とする多交配	中	中	緑	緑	心臓型	淡 緑	4,905	4,800	293	4.5

用途	品 種 名	なりづる の強弱	いもの つく位置	掘り取り の難易	いもの品質				蒸しいも の肉質	食 味	特記事項
					条 溝	形 状	皮 色	肉 色			
青 果 用	ベニアズマ	中	中	易	微	長紡錘	濃赤紫	黄	やや粉	やや上	良食味・多収である。早植えの掘取りの目安は100～130日。遅植えては皮脈の発生が多い。つる割れ病抵抗性は中程度。貯蔵性がやや悪い。
	べにまさり	やや強	浅狭	易	無	紡錘	赤 紫	淡 黄	中	やや上	A品率が高い。粘質で良食味である。育苗期間中「ベニアズマ」に比べ節間が伸びにくい。帯状粗皮病に弱い。多肥・カリ過剰の圃場では丸いも、地中萌芽が発生しやすい。
	ふくむらさき	中	狭	中	微	長紡錘	赤紫	紫	やや粘	中	肉色が紫で、アントシアニンを多く含有する。肉質が粘質で、糖度が高く食味に優れる。収量が少ないため、5月下旬に挿苗し、10月下旬以降に収穫を行い、在圃日数を160日程度確保する。
	べにはるか	中	中	中	無～微	長紡錘	濃赤紫	黄 白	やや粘	やや上 ～上	A品率が高い。収穫後の早い時期でも、蒸し芋は粘質で甘みが強く、食味評価が高い。蒸切干しにも加工可能。育苗期間中「ベニアズマ」に比べ節間が伸びにくい。糖化が進むと蒸しいもの肉質が粘質になり過ぎる。
蒸 切 干 し 用	タマユタカ	強	浅狭	易	微	下膨 短紡	黄 白 首尾部 淡 紅	黄 白	やや粘	やや上	多収で貯蔵性がよい。多肥で蒸切干し「クロタ」が出やすい。干ばつで蒸切干し「シロタ」が出やすい。
	ヒタチレッド	中	浅狭	易	微	紡錘	濃赤紫	淡 橙	やや粘	中	多収でカロチン含量多い。貯蔵性が「タマユタカ」に比べ劣る。

(注) 1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次：平成28年～令和2年

(2) 試験圃場：茨城県農業総合センター農業研究所（水戸市上国井町）畑（表層腐植質黒ボク土）

(3) 施肥量（10a当たり） 窒素2kg、リン酸12kg、カリ10kg（平成28年） 窒素3kg、リン酸10kg、カリ10kg（平成29～令和2年）

(4) 栽植密度：畦幅100cm、株間25cm（平成28～令和元年）、株間35cm（令和2年） 黒マルチ栽培。ただし「タマユタカ」は無マルチ栽培。

植え付け5月下旬、掘り取り10月中旬

令和6年産種子生産計画

水 稲			麦				大 豆		
品種名	生産計画		種類	品種名	生産計画		品種名	生産計画	
	面積	数量			面積	数量		面積	数量
	ha	kg			ha	kg		ha	kg
一番星	1.6	5,500	小	さとのそら	100.0	250,000	里のほほえみ	44.3	61,730
あきたこまち	35.3	160,000		きぬの波	16.0	30,000		納豆小粒	14.4
ふくまるSL	13.7	48,000	麦	ゆめかおり	9.0	21,300	合 計	58.7	74,730
チヨニシキ	1.7	6,000		小 計	125.0	301,300			
ミルキークイーン	県外委託	36,960	六条大麦	カシマムギ	11.0	16,000			
コシヒカリ	238.0	863,060		カシマゴール	44.0	80,000			
にじのきらめき	44.3	155,000		小 計	55.0	96,000			
ゆめひたち	2.9	10,000	二条大麦	ミカモゴールデン	32.0	63,000			
ひたち錦	0.3	1,000							
あさひの夢	1.7	6,000	裸麦	キラリモチ	11.0	16,400			
マンゲツモチ	9.6	33,500							
夢あおば	30.3	115,000		合 計	223.0	476,700			
月の光	11.1	41,000							
合 計	390.5	1,481,020							

種子更新について

品質の高い農作物を安定的に生産するためには、県の奨励品種を選ぶとともに指定種子生産ほ場産の種子を使用することが大切です。また、実需者の求める出所の明らかな農作物を生産するために、種子は毎年更新しましょう。

本県の稲、麦類（小麦、大麦及び裸麦）及び大豆の作付生産状況（出典：農林水産省作物統計）

区分	年産 種別	平成26年産				平成27年産				平成28年産				平成29年産			
		作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数
稲類	水稲	74,700	548	409,400	105	70,300	505	355,000	96	69,300	521	361,100	99	68,100	525	357,500	99
	陸稲	956	267	2,550	109	784	236	1,850	97	652	212	1,380	91	580	244	1,420	109
	計	75,656	-	411,950	-	71,084	-	356,850	-	69,952	-	362,480	-	68,680	-	358,920	-
麦類	小麦	4,700	327	15,400	134	4,670	329	15,400	129	4,580	304	13,900	111	4,780	321	15,300	111
	六条大麦	2,170	201	4,360	94	2,340	273	6,390	133	2,240	251	5,620	120	2,090	254	5,310	115
	二条大麦	1,110	148	1,640	59	1,080	274	2,960	112	1,070	231	2,470	95	1,110	273	3,030	116
	裸麦	-	-	-	-	-	-	-	-	10	410	41	209	40	440	176	203
	計	7,980	-	21,400	-	8,090	-	24,750	-	7,900	-	22,031	-	8,020	-	23,816	-
大豆	3,920	138	5,410	97	3,760	113	4,250	80	3,730	108	4,030	81	3,640	130	4,730	104	

区分	年産 種別	平成30年産				令和元年（平成31年）産				令和2年産				令和3年産			
		作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数
稲類	水稲	68,400	524	358,400	99	68,300	504	344,200	96	67,800	531	360,000	101	63,500	543	344,800	103
	陸稲	528	246	1,300	105	487	240	1,170	101	447	245	1,100	101	402	241	969	100
	計	68,928	-	359,700	-	68,787	-	345,370	-	68,247	-	361,100	-	63,902	-	345,769	-
麦類	小麦	4,610	293	13,500	95	4,590	353	16,200	112	4,610	267	12,300	82	4,510	305	13,800	97
	六条大麦	1,940	225	4,370	97	1,830	262	4,800	109	1,530	231	3,530	91	1,530	291	4,450	119
	二条大麦	1,240	260	3,220	105	1,210	264	3,190	105	1,160	238	2,760	92	1,010	308	3,110	122
	裸麦	125	252	315	97	229	339	776	126	291	273	794	90	325	285	926	90
	計	7,915	-	21,405	-	7,859	-	24,966	-	7,591	-	19,384	-	7,375	-	22,286	-
大豆	3,470	110	3,820	85	3,450	96	3,310	76	3,350	115	3,850	96	3,360	118	3,960	103	

区分	年産 種別	令和4年産				令和5年産			
		作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収量 (kg/10a)	収穫量 (t)	作況指数
稲類	水稲	60,000	532	319,200	101	59,700	530	316,400	101
	陸稲	339	229	776	95	299	214	640	89
	計	60,339	-	319,976	-	60,000	-	317,000	-
麦類	小麦	4,640	268	12,400	86	4,890	314	15,400	105
	六条大麦	1,700	188	3,200	72	1,460	244	3,560	100
	二条大麦	912	188	1,710	74	942	238	2,240	94
	裸麦	355	180	639	56	253	257	650	82
	計	7,607	-	17,949	-	7,545	-	21,850	-
大豆	3,380	158	5,340	140	3,430	118	4,050	102	

※水稲以外の作況指数欄については、
農林水産統計における平均収量対比を記載。

令和6年産 産地品種銘柄一覧表

(令和6年3月29日現在)

種 類		必須銘柄		選択銘柄	
水稻	うるちもみ・うるち玄米	あきたこまち キヌヒカリ コシヒカリ チヨニシキ つくばSD1号 とねのめぐみ 日本晴 ひとめぼれ ミルクークイーン 夢ごこち ゆめひたち		ICS6号 あきだわら あさひの夢 一番星 いのちの壺 笑みの絆 エルジーシー潤 LGCソフト 華麗舞 つきあかり つくばSD2号 とよめき 和みリゾット	にじのきらめき はいごころ ハイブリッドとうごう3号 はえぬき はるみ 姫ごのみ ふくまる ほしじるし ほむすめ舞 みつひかり 萌えみのり ゆうだい21
	醸造用玄米	五百万石 ひたち錦 美山錦	山田錦 若水 渡船		
	もちもみ・もち玄米	ヒメノモチ	マンゲツモチ	こがねもち	
麦類	普通小麦	きぬの波 さとのそら	農林61号	ゆめかおり ユメシハウ	
	普通小粒大麦	カシマムギ		カシマゴール	
	普通大粒大麦	ミカモゴールドン			
	普通裸麦			キラリモチ	
大豆	普通大豆及び 特定加工用大豆	大粒及び中粒大豆 小粒及び極小粒大豆	タチナガハ 納豆小粒	ハタユタカ	里のほほえみ
	そば	普通そば	常陸秋そば		

(注) 農産物検査法第11条第1項の規定に基づき定められた農産物規格規程による。
産地品種銘柄が設定された品種：農産物検査の受検により、JAS法に基づく品種名、産地名及び産年の表示等が可能となる。